

生活教養科 1年 高大連携授業

7月12日（金）宇都宮共和大学・宇都宮短期大学（長坂キャンパス）で、生活教養科1年生の高大連携授業（保育・栄養・福祉）を実施しました。

まず初めに、大講義室で杉本学部長・百田学科長から大学や短大での学びとはどのようなものかという話を交え開講の挨拶をいただきました。その後、グループに分かれ、保育では「子どもと絵本」、栄養では「食と味覚」、福祉では「医療事務」「車いす体験」について、ローテーションしながら4つの内容を受講しました。

「子どもにとっての絵本の大切さや読み聞かせの仕方」や、「レモンとミラクルフルーツを使用した味覚の実験」、「医療事務の仕事の内容や車いすの乗り方・押し方」など、実習を通して専門的な内容を学ぶことができました。生徒たちにとって、楽しく充実した、学びの多い高大連携授業となりました。



杉本学部長の講話を聞き、大学や短大について、興味を持つことができました。



赤ちゃん人形を使って、保育体験をしました。



ミラクルフルーツで味覚が変わり、おもしろかったです。



利用者さんの気持ちになってみたり、介助の方法を実践しました。